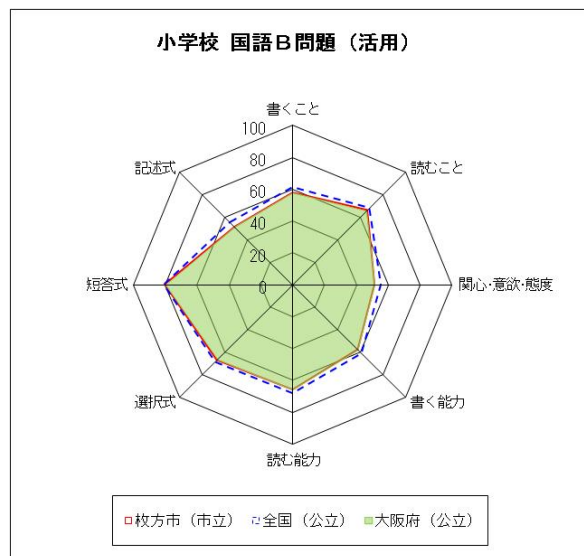
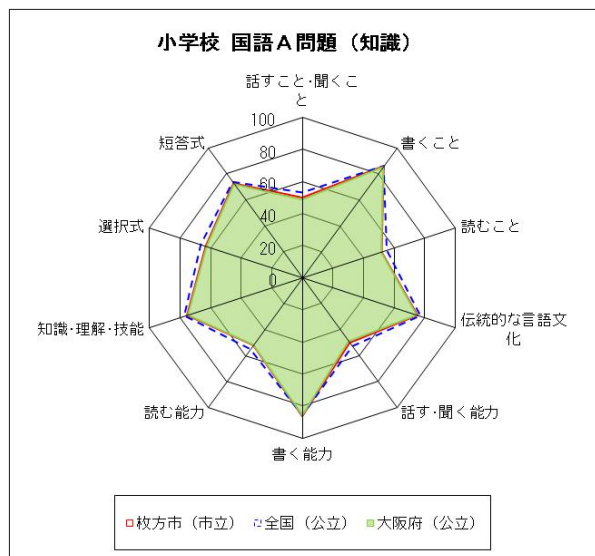


小学校 国語



グラフは、学習指導要領の領域等・評価の観点・問題形式ごとの枚方市(実線)・全国(点線)・大阪府(塗りつぶし)の各平均正答率を表しています。

〈国語 A〉

設問ごとの結果については、本市の全体的な傾向として、全国の状況と同様です。文部科学省の分析では、国語 A (知識) の全国平均正答率は 70.0% で、主な課題は以下のとおりです。

出題の趣旨	全国	枚方市
学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く〔1 二 1〕	58.4%	57.0%
文の中における主語を捉える〔2 一〕	53.1%	46.5%
話の内容に対する聞き方を工夫する〔3〕	53.0%	50.2%
新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉える〔5 二〕	19.8%	15.0%

【設問の概要】

- 1 二 1 漢字を書く (シャワーを**あ**びる)
- 2 一 文の主語として適切なものを選択する
- 3 聞き方の説明として適切なものを選択する
- 5 二 コラムの中で筆者が引用している言葉を書き抜く

〈国語 B〉

設問ごとの結果については、本市の全体的な傾向として、全国の状況と同様です。文部科学省の分析では、国語 B (活用) の平均正答率は 65.4% で、主な課題は以下のとおりです。

出題の趣旨	全国	枚方市
目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書く〔1 三〕	34.7%	29.5%
文章と図とを関係付けて、自分の考えを書く〔2 三〕	41.6%	37.6%
登場人物の行動を基にして、場面の移り変わりを捉える〔3 一〕	60.4%	60.8%

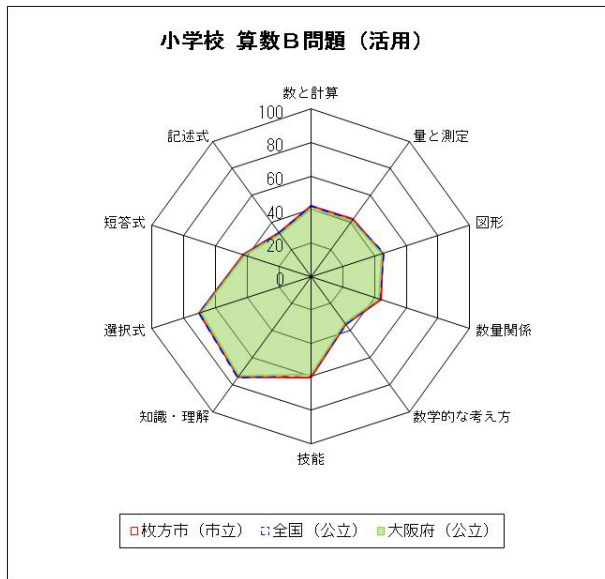
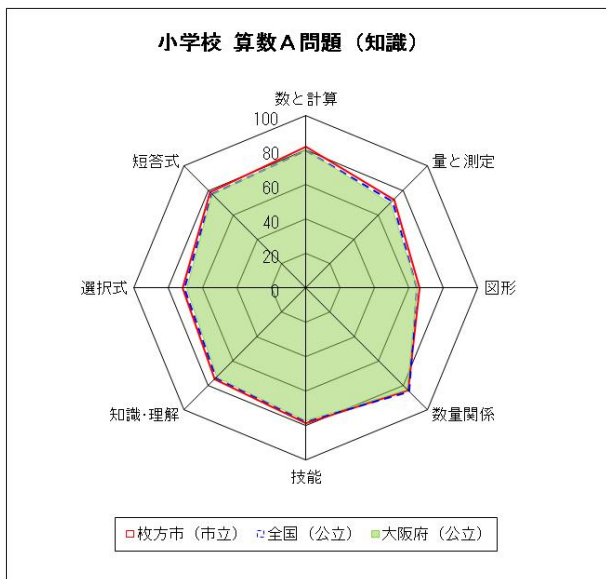
【設問の概要】

- 1 三 【中田とよさんへのインタビューの様子】の内容をまとめて書く
- 2 三 楽器の分担の決め方について、【楽器の分担図】を基にして書く
- 3 一 〈絵 3〉の場面が始まるまとまりとして適切なものを選択する

〈成果と課題〉

「学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む」、「具体的な事例を挙げて説明する文章を書く」、「目的に応じ、中心となる語や文を捉える」は良好な結果でした。一方、「新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉える」や、「取材した内容を整理しながら記事を書く」に課題が見られます。引用する目的意識や必要性を十分にもてる言語活動を位置付け、課題解決の過程において指導すること、また、取材した内容を新聞記事として書く際に、事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じ、伝えたい内容が十分に伝わるように、取材した複数の内容を整理して書くよう指導することが必要です。

小学校 算数



〈算数A〉

設問ごとの結果については、本市の全体的な傾向として、全国の状況と同様です。文部科学省の分析では、算数A（知識）の平均正答率は75.2%で、主な課題は以下のとおりです。

出題の趣旨	全国	枚方市
末尾の位のそろっていない小数を減法の計算をする〔2(2)〕	69.5%	72.9%
180° や360° を基に分度器を用いて、180° よりも大きい角の大きさを求める〔4(2)〕	58.0%	60.6%
示された三角形が二等辺三角形になる根拠となる円の性質を選択する〔5(1)〕	50.6%	50.3%

【設問の概要】

- 2(2) 6.79-0.8を計算する
- 4(2) 分度器の目盛りを読み、180° より大きい角の大きさを求める
- 5(1) 円の中心と円周上の二点を頂点とする三角形が二等辺三角形になる理由として、最もふさわしい円の特徴を選ぶ

〈算数B〉

設問ごとの結果については、本市の全体的な傾向として、全国の状況と同様です。文部科学省の分析では、算数B（活用）の平均正答率は45.0%で、主な課題は以下のとおりです。

出題の趣旨	全国	枚方市
示された情報から基準量を求める場面と捉え、比較量と割合から基準量を求める〔2(2)〕	13.1%	14.5%
正三角形の性質を基に、示された周の長さから辺の長さが等しくなる位置を求める〔3(1)〕	32.5%	31.8%
長方形の面積を2等分する考えを基に、分割された二つの図形の面積が等しくなる理由を記述する〔5(1)〕	12.5%	13.3%
条件を変更した場面に面積を2等分する考えを適用して、示された部分の面積を求める〔5(2)〕	47.8%	46.6%

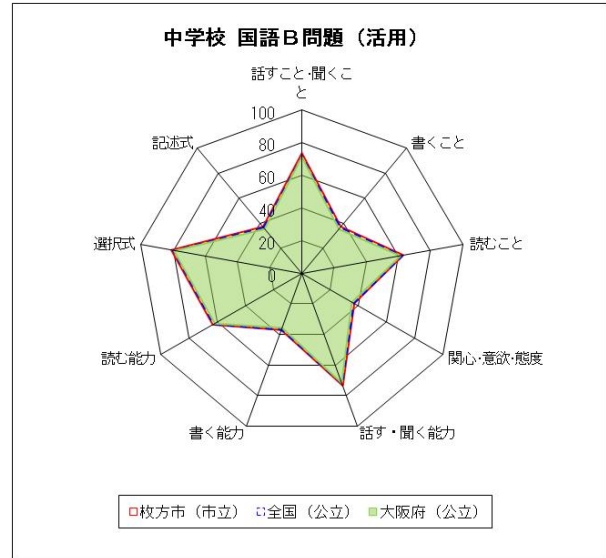
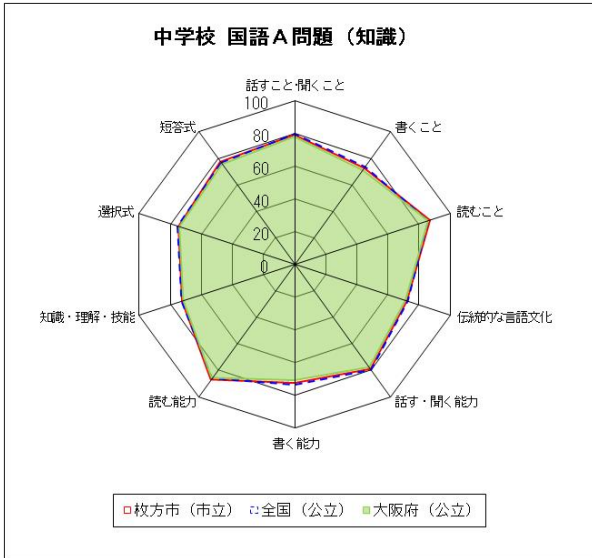
【設問の概要】

- 2(2) 20%増量した商品の内容量が480mLであるとき、増量前の内容量を求める式と答えを書く
- 3(1) 周の長さが24mの正三角形を巻き尺でつくるために、それぞれこの目盛りのところを持ってばよいかを書く
- 5(1) 示された図において、分割された二つの図形の面積が等しくなるわけを書く
- 5(2) 示された図形の色がついた部分の面積を求める

〈成果と課題〉

A問題・B問題ともに、全国と比較して正答率が高くなりましたが、「示された三角形が二等辺三角形になる根拠となる円の性質を選択する」、「長方形の面積を2等分する考えを基に、分割された二つの図形の面積が等しくなる理由を記述する」など、図形の領域に課題があります。作図する活動において、図形を構成する要素に着目して図形の性質の理解を深め、作図の方法を図形の特徴と関連付けて捉える指導が必要であり、日常生活の事象から図形を見だし、図形の約束や性質と関連付けて考え、日常生活と図形との関連について関心を高めることが大切です。また、示された考えを基に、根拠となる事柄を過不足なく説明する指導の充実が求められ、事柄が成り立つことの説明として必要な根拠を満たしているか話し合い、よりよい説明に表現し直す指導を重視することも大切です。

中学校 国語



〈国語A〉

設問ごとの結果については、本市の全体的な傾向として、全国の状況と同様です。文部科学省の分析では、国語A（知識）の平均正答率は75.8%で、主な課題は以下のとおりです。

出題の趣旨	全国	枚方市
伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く〔7二〕	66.4%	63.9%
語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う〔9三イ〕・〔9三オ〕	55.5%・49.0%	51.5%・43.7%
単語の類別について理解する〔9四②〕	33.7%	33.6%
手紙の書き方を理解して書く〔9六〕	58.2%	48.5%

【設問の概要】

- 7二 要望を適切に捉え、回答の冒頭に一文を加える
- 9三イ 適切な語句を選択する（彼がこの討論の口火を切った）
- 9三オ 適切な語句を選択する（私が先生のお宅に参ります）
- 9四② 「青い」と「青さ」の品詞として適切なものを選択する
- 9六 手紙の後付けの直し方とその理由として適切なものを選択する

〈国語B〉

設問ごとの結果については、本市の全体的な傾向として、全国の状況と同様です。文部科学省の分析では、国語B（活用）の平均正答率は65.8%で、主な課題は以下のとおりです。

出題の趣旨	全国	枚方市
資料の提示の仕方を工夫し、その理由を具体的に書く〔1三〕	56.2%	58.5%
複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書く〔2三〕	23.0%	22.3%
文章の構成や展開などを踏まえ、根拠を明確にして自分の考えを書く〔3三〕	31.1%	30.6%

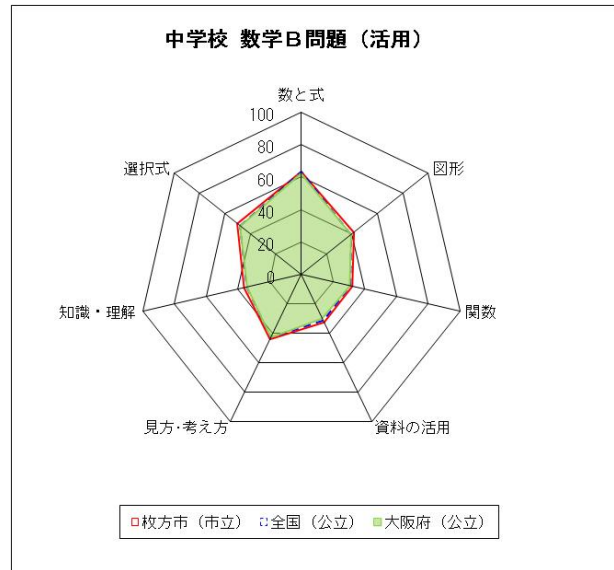
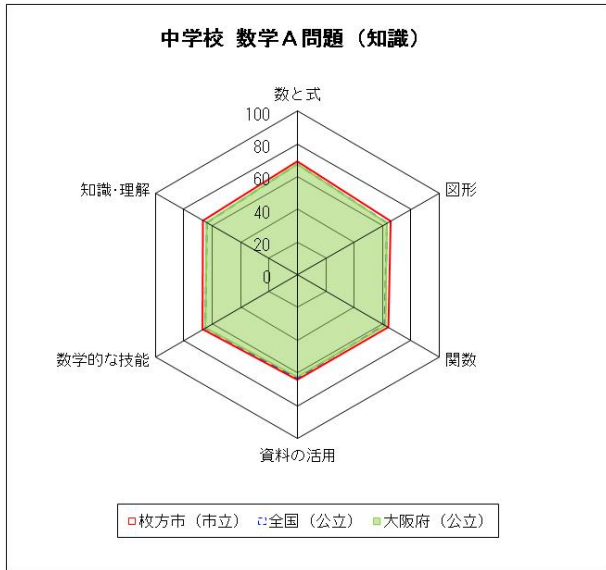
【設問の概要】

- 1三 演奏するタイミングを選択し、その理由をノートの内容と結び付けて書く
- 2三 資料を参考にして2020年の日本の社会を予想し、その社会にどのように関わっていきたいか、自分の考えを書く
- 3三 文章の最後の一文があった方がよいかどうかについて、話の展開を取り上げて自分の考えを書く

〈成果と課題〉

全国と同様に、「相手の反応を踏まえて話す」、「登場人物の心情や行動に注意して読んだり、言動の意味を考えたりして内容を理解する」、「表現の工夫について自分の考えを持つ」については、良好な結果であったものの、「複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを持つ」、「根拠を明確にして自分の考えを具体的に書く」に課題があります。複数の本や資料から得た情報について、その真偽や適否を見極めるとともに、書かれている内容を自分と結びつけて考えるような指導や、図書館やインターネットを利用して、目的や意図に応じて主体的に情報を収集する学習活動を取り入れることが必要です。また、自分の考えの根拠が適切に取り上げられているか、接続語の使用や段落構成の工夫など、読み手に対してどの部分が根拠であるかを分かるように示されているかなど、文章を複数の観点から見直すよう繰り返し指導することが重要です。

中学校 数学



〈数学A〉

設問ごとの結果については、本市の全体的な傾向として、全国の状況と同様です。文部科学省の分析では、数学A（知識）の平均正答率は64.4%で、主な課題は以下のとおりです。

出題の趣旨	全国	枚方市
数量の関係を文字式に表す〔2(2)〕	22.2%	26.0%
具体的な事象における数量の関係を捉え、連立二元一次方程式をつくる〔3(3)〕	44.9%	47.5%
証明の必要性と意味を理解している〔8〕	25.8%	28.1%
与えられた資料から中央値を求める〔14(1)〕	46.0%	43.9%

【設問の概要】

- 2(2) 赤いテープの長さが a cm で、白いテープの長さの $3/5$ 倍のとき、白いテープの長さを a を用いた式で表す
- 3(3) 連立二元一次方程式をつくるために着目する数量を表した式を選ぶ
- 8 対頂角は等しいことの証明について正しい記述を選ぶ
- 14(1) 反復横とびの記録の中央値を求める

〈数学B〉

設問ごとの結果については、本市の全体的な傾向として、全国の状況と同様です。文部科学省の分析では、数学B（活用）の平均正答率は41.6%で、主な課題は以下のとおりです。

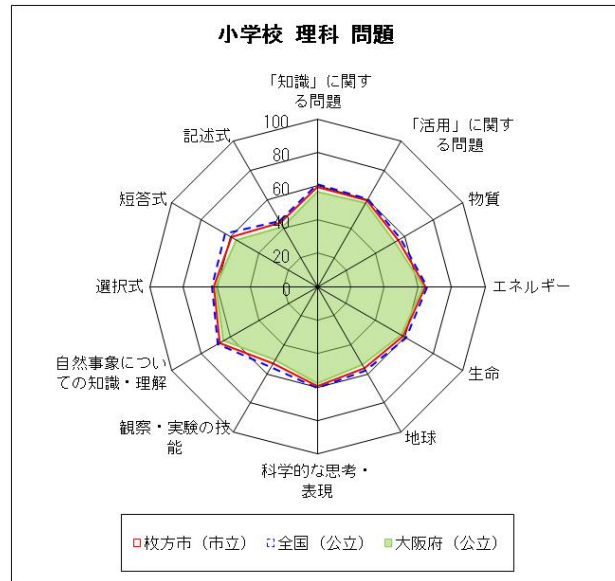
出題の趣旨	全国	枚方市
事象を式の意味に即して解釈し、その結果を数学的な表現を用いて説明する〔1(3)〕	11.7%	12.5%
図形に着目して考察した結果を基に、問題解決の方法を図形の性質を用いて説明する〔3(2)〕	21.2%	21.8%
資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する〔5(2)〕	23.3%	24.3%

【設問の概要】

- 1(3) 映像の明るさを2倍にするための投映画面の面積の変え方を選び、その理由を説明する
- 3(2) 四角形EFGHがいつでも平行四辺形になるように点Fの位置を決める方法を、平行四辺形になるための条件を用いて説明する
- 5(2) 2回目の調査の方が落とし物の状況がよくなったとは言い切れないと主張することもできる理由を、グラフを基に説明する

〈成果と課題〉

全国と同様に、「一次式の減法の計算」、「時間と道のりの関係を表すグラフから、与えられた時間における道のりを読み取る」、「問題場面における考察の対象を明確に捉える」については、良好な結果でしたが、「事象を式の意味に即して解釈し、その結果を数学的な表現を用いて説明する」、「図形に着目して考察した結果を基に、問題解決の方法を図形の性質を用いて説明する」に課題が見られます。日常的な事象を数学的な解釈に基づいて考察し、事柄が成り立つ理由を説明する活動を充実することが必要です。また、問題解決の方法や手順を説明する場面を設定し、図形の性質などの「用いるもの」とその「用い方」について明らかにすることができるよう指導することが大切です。



設問ごとの結果については、本市の全体的な傾向として、全国の状況と同様です。文部科学省の分析では、小学校理科の平均正答率は60.8%で、主な課題は以下のとおりです。

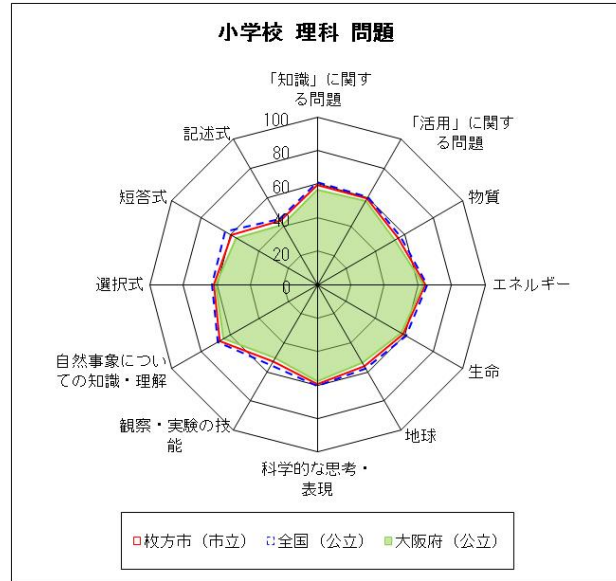
出題の趣旨	全国	枚方市
顕微鏡の適切な操作方法を身に付けている〔2(4)〕	37.9%	34.7%
析出する砂糖の量について分析するために、グラフを基に考察し、その内容を記述できる〔3(6)〕	28.9%	28.8%

【設問の概要】

- 2(4) 顕微鏡の適切な操作方法を選ぶ
- 3(6) 水の温度と砂糖が水に溶ける量との関係のグラフから、水の温度が下がったときに出てくる砂糖の量を選び、選んだわけを書く

〈成果と課題〉

全国と同様に、「メダカの雄雌を見分ける方法を理解している」「打ち水の効果について、グラフを基に地面の様子と気温の変化を関係付けながら考察して分析する」については、良好な結果でしたが、「顕微鏡の適切な操作方法を身に付けている」「析出する砂糖の量について分析するために、グラフを基に考察し、その内容を記述する」に課題が見られます。顕微鏡を用いて観察する機会を増やしたり、観察対象物を複数にしたりして、一人ひとりが顕微鏡を操作できるようにして、対象や目的に応じて観察器具を適切に操作できるようにすることが重要です。また、析出や溶解の様子と温度変化との関連など、変化とその要因とを関連付けて考えることができるようにするためには、実験と観察を繰り返し、実感を伴って指導することが大切です。



設問ごとの結果については、本市の全体的な傾向として、全国の状況と同様です。文部科学省の分析では、中学校理科の平均正答率は53.0%で、主な課題は以下のとおりです。

出題の趣旨	全国	枚方市
実験の結果を分析して解釈し、炭酸水素ナトリウムを溶かした方の試験管を指摘する〔1(2)〕	32.6%	32.4%
他者の考察を検討して改善し、水の状態変化と関連付けて雲の成因を正しく説明する〔2(3)〕	14.5%	13.6%

【設問の概要】

- 1(2) 同じ量の水に同じ量の炭酸水素ナトリウムと硫酸ナトリウムをそれぞれ加えたとき、どちらが炭酸水素ナトリウムであるかを選ぶ
- 2(3) 湿った空気が斜面に沿って上昇してできる雲について、その成因を説明した他者の考えを検討して、誤っているところを改善する

〈成果と課題〉

全国と同様に、「塩化ナトリウムを化学式で表す」「グラフを分析して解釈し、化学変化について正しく読み取る」については、良好な結果でしたが、「実験の結果を分析して解釈し、炭酸水素ナトリウムを溶かした方の試験管を指摘する」「他者の考察を検討して改善し、水の状態変化と関連付けて雲の成因を正しく説明する」については、課題が見られます。観察・実験の結果を分析して解釈できるようにするため、観察・実験の予想や仮説と比較したり、理科で学習した知識・技能と関連付けたりする視点を示すことが重要で、小学校で培った問題解決の能力を踏まえて、比較や分類したり、関連付けたりする視点をもって分析して解釈できるよう、助言や支援をすることが大切です。また、科学的な思考力や表現力を育成するため、自らの考察や他者の考察を検討して改善する際に、多面的、総合的に思考できるように指導することが求められます。事前事象に対する概念形成ができていない生徒がいることも考えられるため、関連する知識を整理しておくことも重要です。